

たのしい サイエンス通信

2022年度

4

作 扇町書房

理系に英語は必要？

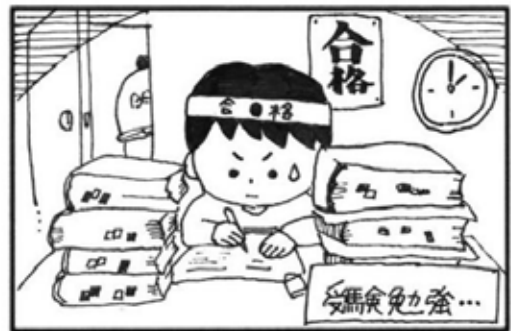
サイエンスあるある早く言いたい・・・

中3になって進学先選ぶとき、「英語が究極に苦手やから、理数科(サイエンス創造科)選びがち」・・・「でも実際来てみたら週5で中学校のときより英語の授業多くて涙目になりがち」・・・あると思います。

いかがでしょうか。理系科目が好きだから、得意だからという理由で、サイエンス創造科に進学してきた人はとても多いと思います。反対に英語は苦手…あるあるですよ。しかし、結論から言うと、理系にも英語は必須です。

みなさんの中には、大学に進学して自分の興味・関心のある分野の研究がしたい、と考えている人も多いと思います。大学での研究は、過去に研究されたものの「情報」を集め、「論文」をたくさん読み、進めていく必要があります。その必要となる「情報」や「論文」は、ニッチな研究になればなるほど、英語で書かれています。また、自分の研究をより多くの人に見てもらうためには、英語で論文を書く必要もあるかもしれません。よく見かける、世界大学ランキングの選出基準には、その大学から出た論文の被引用数が大きな割合を占めるようです。

サイエンスあるある②



また、日常生活でも英語は大切です。昨年、日本でコロナワクチンの接種が始まったころに、このようなことがありました。ワクチンを製造しているファイザー社のHPに書かれている英文をめぐってのことです。

Does the Pfizer-BioNTech COVID-19 Vaccine cause infertility?

「ファイザーの新型コロナワクチンは不妊の原因になりますか？」

という質問に対して、ファイザー社はこう答えています。

It has been suggested that COVID-19 vaccines will cause infertility because of a share amino acid sequence in the spike protein of SARS-CoV-2 and a placental protein.

この英文をそのまま Google 翻訳にかけると、

「COVID-19 ワクチンは、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質と胎盤タンパク質のアミノ酸配列が共有されているため、不妊症を引き起こすことが示唆されています。」

となり、これをめぐってツイッター上では大きな物議を呼びました。しかし、このファイザー社の回答には続きがあります。

Although the SARS-CoV-2 spike protein shares an amino acid sequence with a placental protein, the two proteins are immunologically different and distinct. In an animal study in which the Pfizer-BioNTech COVID-19 Vaccine was administered prior to and during gestation, no vaccine-related adverse effects on female fertility, fetal development, or postnatal development were reported.

「たしかに新型コロナウイルスのスパイクタンパク質と胎盤タンパク質の配列には共通する部分がありますが、2つのタンパク質は免疫学的に異なるものであり、明確に区別されます。動物実験では、…受胎能力・胎児の発育・出生後の発育において、ワクチンに関する悪影響は報告されませんでした。」

と明確に否定しています。前半部分の It has been suggested that の訳し方が明らかに不適切なのです。これは、「ワクチンのタンパク質と胎盤タンパク質のアミノ酸配列が共有されているため、不妊症を引き起こすと示唆されてきましたが、2つのタンパク質は明確に違うものであり、動物実験でも、ワクチンに関する悪影響は報告されませんでした。」ということなのです。

どんなことであっても、みなさんが行動の選択をするとき、多くの情報から、正しい情報を自分で確認し、判断しなければなりません。その情報が誤ったものなのか正しいものなのかを判断するためには、その発信元となる一次情報にアクセスする必要があります。その一次情報は英語であることが多いのです。

このような、正しく情報を読み取る力(英語力を含む)は将来、自分だけでなく大切な友達や家族を救うことにつながるかもしれません。英語を勉強しましょう。(中)